

- 3 日本列島の周辺では、図1のX～Zの気団が発達したりおとろえたりして、日本の各季節の天気に大きな影響を与えていた。図2は、春、梅雨、夏、冬の特徴的な天気図である。これについて、以下の問い合わせに答えなさい。

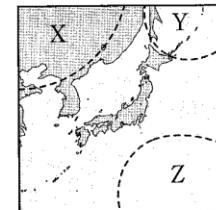
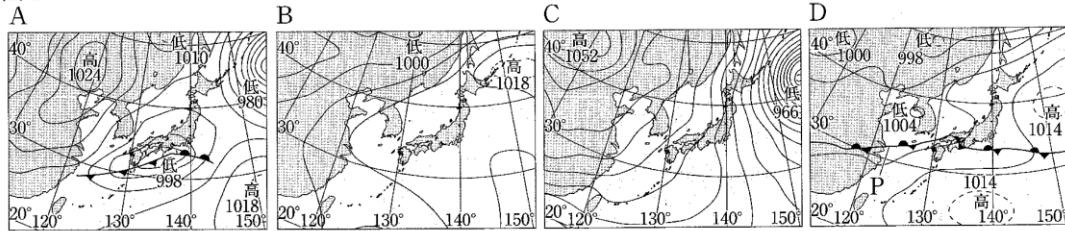


図1

図2



(1) 次の文は、図2のAの天気図が見られる時期の気象を説明したものである。文中の□にあてはまる語句を、漢字3字で答えなさい。また、{ }にあてはまるものを選び、記号で答えなさい。

図2のAの天気図が見られる時期には、日本列島の上空を、低気圧と①高気圧が交互に
②ア 東から西 イ 西から東へ通り過ぎていくため、天気が周期的に変わることが多い。

(2) 図2のBの天気図について、次の各問い合わせに答えなさい。

① 次のうち、図のBの天気図が見られる時期はどれか。最も適当なものを1つ選び、記号で答えなさい。

ア 春 イ 梅雨 ウ 夏 エ 冬

② 次の文は、図のBの天気図が見られる時に、日本列島付近にふく特徴的な風について説明したものである。文中の{ }にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

大陸は海よりもa{ア あたたまりやすい イ あたたまりにくい}ため、図のBの天気図が見られる時期には、大陸の気圧が海よりもb{ア 高く イ 低くなる}。そのため日本列島付近には、c{ア 北西 イ 南東}の風がふく。

(3) 図1のX～Zの気団のうち、①図2のCの天気図が見られる時に最も発達している気団はどれか。1つ選び、記号で答えなさい。また、次のうち、②その気団の特徴はどれか。1つ選び、記号で答えなさい。

ア 冷たく、乾燥している。 イ 冷たく、湿っている。

ウ あたたかく、乾燥している。 エ あたたかく、湿っている。

(4) 図2のDの天気図に見られる前線Pは、図1のX～Zのうちの2つの気団がぶつかり合ってできたものである。①2つの気団の組み合わせとして適当なものはどれか。次から1つ選び、記号で答えなさい。また、②天気図上に――――で表される前線を一般に何というか。名称を答えなさい。

ア XとY イ XとZ ウ YとZ

- (1) 図2のAは春に見られる天気図で、秋にも見られることがある。
- (2) 図2のBは夏に見られる天気図である。夏は小笠原気団(Z)が発達して日本上空に太平洋高気圧が張り出し、南高北低の気圧配置となって、あたたかい南東の季節風がふく。
- (3) 図2のCは冬に見られる天気図である。冬はシベリア気団(X)が発達して等圧線が南北に密に並び、西高東低の気圧配置となって、冷たい北西の季節風がふく。
- (4) 図2のDは梅雨に見られる天気図である。梅雨の時期は、冷たく湿ったオホーツク海気団(Y)とあたたかく湿った小笠原気団(Z)の間に停滞前線(梅雨前線)ができる、雨やくもりの日が続く。

(1)	① 移動性	② イ
完答。①は漢字3字指定。		
(2)	① ウ	12
(2)	a ア b イ c イ	完答
(3)	① X	② ア
(3)	完答	14
(4)	① ウ	
(4)	完答	ていたいぜんせん
(4)	② 停滞前線	15